

# 意見聴取 記録

件名	【指定管理者制度】第1回有識者意見聴取
年月日 場所	令和5年3月13日(月曜日) 13:00~15:00 杉並区役所内会議室
出席者	有識者：岡田 知弘氏(京都橋大学 経済学部教授、京都大学名誉教授) 区側：区政経営改革担当課長(森)、企画課企画調整担当係長(鈴木、松尾) 施設マネジメント担当(岡部)
配布資料	資料1 「指定管理者制度の検証」の概要・検証状況等について 資料2 想定スケジュール 資料3 検証まとめのイメージ
概要	<p>配布資料等に基づき区側から説明を行った後、有識者から意見を聴取した。</p> <p><b>1 コロナ禍の影響について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍の影響があった3年間でどう分析していくかが難しい。利用者数の分析も複数年(「コロナ前」「コロナ中」「現在」)で比較することも有効ではないか。</li><li>・コロナ禍において、区が指定管理事業者の収入減少の補てんなどについてどのように対応してきたかをまとめると、区側の課題やリスクも見えてくるのではないか。</li><li>・コロナの影響(経緯なども含めて)については、総論で触れても良いかもしれない。</li></ul> <p><b>2 追加の確認について</b></p> <p>○<u>離職の理由など</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今回の従事者調査は、現在指定管理施設で働いている人への調査である。実施は難しいかもしれないが、雇用環境・労働環境の課題は、離職者にアンケートを実施した方がリアルな状況が見えてくる。</li></ul> <p>○<u>区予算における指定管理料のウェイトについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・杉並区予算全体の内、指定管理費用の割合の変化をみてもいいのではないか。</li></ul> <p>○<u>指定管理者の公募に関する情報について</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・指定管理者の選定における公募型プロポーザルが機能してきたかを、事業者の応募数で確認してみる必要があるのではないか。</li></ul> <p>○<u>クロス集計について</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・膨大な時間をかけ、あらゆる角度から分析するのではなく、例えば施設種別ごとに比較した後、特徴的な数値などがあれば、その数値を手掛かりとしてクロス集計などを行い、分析を深めていくことが有効である。</li></ul> <p><b>3 全体のまとめ方について</b></p> <p>○<u>モニタリングについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・モニタリング調査について、高く評価が出てきている施設や低く評価ができていない施設で課題を見ていくのはどうか。</li><li>・モニタリングが機能していることについて、評価が低い事業者の契約を更新しなかった実績などにもふれ、しっかり説明する必要があるのではないか。</li><li>・また、全国的にみると、指定管理施設における事件なども起きているが、杉並区でそのような事例がないのであれば、強調すべき。(総論で記載しても良いのではないか。)</li></ul>

○検証のまとめ方について

- ・ 大まかな流れは原案で良いと思う。
- ・ 区民にとってこれまでの経緯が分かるよう、第1章の総論的な部分を充実させると良い。
- ・ 施設に応じて指定管理者制度を導入した年度が異なるため、個別施設毎、事業者毎に単純に見せることは難しいと思うが、現在の施設種別での分析だけではなく、施設毎・事業者毎に分析をする部分があっても良い。
- ・ 定性的、定量的なデータをもとに客観的な事実として、総論的な結論が必要になってくる。

# 意見聴取 記録

件名	【指定管理者制度】第1回有識者意見聴取
年月日 場所	令和5年3月10日（金曜日） 15:00～17:00 東京大学 経済学研究棟 1310室
出席者	有識者：林 正義氏（東京大学 大学院経済学研究科 経済学部教授） 区側：区政経営改革担当課長（森）、企画課企画調整担当係長（鈴木、松尾）
配布資料	資料1 「指定管理者制度の検証」の概要・検証状況等について 資料2 想定スケジュール 資料3 検証まとめのイメージ
概要	<p>配布資料等に基づき区側から説明を行った後、有識者から意見を聴取した。</p> <p><b>1 従事者アンケート</b> ○調査項目について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・回答者にとって分かりやすい設問とすることが重要である。</li><li>・労働環境を確認するには、賃金の情報が必要であるが、事業者に聞けばよいので、従事者に聞く必要はないかもしれない。</li></ul> <p><b>2 所管課・事業者アンケート</b> ○調査項目について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コスト比較を行うのであれば、指定管理者制度導入施設におけるサービスをその質を落とさずに全て区職員が行った場合に、どれくらいコストが変化するか確認が必要ではないか。</li></ul> <p><b>4 利用者アンケート</b> ○調査項目について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・指定管理者制度の導入効果を確認するには、制度導入前後の比較が必要となる。制度導入前から施設を利用している人に、導入前後での満足度の変化を聞くことが最も望ましい。それが難しければ、利用者数の増が評価基準となるのではないか。</li><li>・指定管理者制度の導入前後で比較し、具体的な数字を出すのが良い。</li><li>・本来、サービスを比較するには、コストを一定にする必要がある。（その逆も同様である。コストを度外視すれば、サービスはいくらでも向上できる。）</li></ul> <p><b>5 全体のまとめ方について</b> ○区民にとって分かりやすいまとめにすべき</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・報告の相手は区民である。そのため、報告書は区民が読んで分かるものにすべきである。区民にとって有用な情報を示すことが必要。</li><li>・まず、各施設がどういった施設なのか、指定管理者制度を導入した歴史的ないきさつなどについても記載が必要ではないか。</li><li>・これまで区は、モニタリングや、公契約条例に基づく取組をしっかりとやっているということであれば、その取組と実績を丁寧に説明する必要がある。</li></ul>

### ○検証のまとめ方について

- ・ 大まかな流れは原案で良いと思う。
- ・ 一般的なまとめ方としては、『①各施設に期待されている機能とは何か。②その機能を評価するためには、どういった数値を見れば良いのか。③指定管理者制度を導入して、当該数値が変わったのか。④数値で見えないものは利用者アンケートなどで定性的な情報を活用する。』という流れになるのではないか。
- ・ 施設ごとに類型化して効果を見ることは可能ではないか。
- ・ 集会施設、スポーツ施設、図書館については、共通の評価項目を作れるのではないか。
- ・ 杉並芸術会館、大田黒公園、高齢者活動支援センターは、集会室等の一般的な施設と比べて特殊な施設のため、サービス面での比較が難しければ、コスト面での検証が中心になるのではないか。
- ・ 杉並区外の比較できるものを探しだしてきて、それと比較することで、効果を示せるのではないか。・ 労働環境は、基本的に労働基準法の問題ではないか。

### 6 その他

- ・ 所管課担当者（過去指定管理施設を担当していた職員も含め）へのインタビューも有効ではないか。
- ・ 今回のような大規模な検証にあたっては、職員の負担軽減等のため、第三者に検証業務の一部を委ねることも効果的・効率的ではないか。